

# 令和2年度 政務活動費収支報告

## 政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、交付されるものです。  
 また、市政に関する調査研究その他議会活動を共同して行うことを目的として、議長に結成を届けた会派（所属議員が1人の場合を含む）に対して交付されます。  
 支給額は、議員一人当たり年額300,000円（月額25,000円）です。



単位（円）

会派名等 （人数）	深谷同志会 （11人）	深政クラブ （3人）	深和会 （3人）	公明党 （3人）	日本共産党 （2人）	加藤利江	村川徳浩
交付額（A）	3,300,000	900,000	900,000	900,000	600,000	300,000	300,000
支出額（B）	774,876	0	548,186	222,057	448,598	0	300,000
支出内訳	調査研究費等	195,240					
	研修費						
	広報費	573,586				445,476	300,000
	広聴費						
	資料作成費						
	資料購入費	6,050		346,869	25,340	3,122	
事務費			201,317	196,717			
差引額（A-B） （市への返還額）	2,525,124	900,000	351,814	677,943	151,402	300,000	0

## 支出項目の内容

項目	内容	主な例
調査研究費等	会派が行う市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費や調査研究その他の活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費です。	資料印刷費、調査委託費、文書通信費、交通費、旅費、宿泊費、車借上料、ガソリン代等
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費です。	講師謝金、会場費、交通費、宿泊費、参加費等
広報費	会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費です。	広報紙・報告書等印刷費、会場費等
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取（アンケート）、住民相談等の活動に要する経費です。	資料印刷費、会場費、文書通信費、交通費等
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料作成に要する経費です。	印刷製本費、翻訳料、事務機器購入費、リース料、コピー代等
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費です。	書籍購入費等
事務費	会派が行う活動に係る必要な備品、文具、消耗品等購入、通信等に要する経費です。	備品購入費、文具代、事務機器購入費、コピー代等

詳細は深谷市ホームページをご覧ください。

深谷市議会 政務活動費 検索



## 議会のうごき

### 4月 行事内容

- 27(火) 議員全員協議会
  - 新型コロナファイザー社ワクチン接種
  - 地域通貨導入戦略の策定、地域通貨の一般販売
  - アグリテックビジネスコンテスト最優秀受賞者への出資等
  - 農水省「スマート農業実証プロジェクト」に採択決定
  - 原郷上野台線アンダーパスの工事
  - 川本複合施設建設事業の進捗状況
  - 深谷市岡部B & G海洋センター廃止
  - 国史跡幡羅官衙遺跡群保存活用計画の策定

### 5月 行事内容

- 26(水) 議会運営委員会 議員全員協議会
  - 深谷市深谷テラスパーク条例
  - 岡部多目的センター跡地の活用
  - 深谷市国土強靱化地域計画(案)
  - 新型コロナウイルスワクチン接種
  - 原郷上野台線アンダーパスの工事

### 6月 行事内容

- 2(水) 議会運営委員会、議会閉会 議案説明
- 7(月) 議案質疑

- 9(水) 福祉文教委員会
- 10(木) 産業建設委員会
- 11(金) 総務委員会
- 16(水) 一般質問
- 17(木) 一般質問
- 18(金) 一般質問
- 22(火) 議会運営委員会、議会閉会 議員全員協議会
  - 深谷市国土強靱化地域計画の策定
  - 新型コロナウイルスワクチン接種
  - 新庁舎2期工事完了
  - 東京2020オリンピックトルコ共和国事前キャンプ

**Q** 花園1C拠点整備プロジェクトについて、進捗状況、オープン後の業務内容は。  
**A** 来春オープン予定のキューピーが運営するファームは、レストラン、体験農園、マルシェ、野菜教室となっている。来秋オープン予定のアウトレットは、開業時約120店舗を予定しており、開業に向け、市内商工団体や、秩父地域自治体と構成する観光連携協議会との意見交換に積極的に参加している。



とみ た まさる 富田 勝 映像はこちら

**Q** アウトレットの概要は  
**A** レンガ・木材などで、平屋建て、深谷らしさを目指す



深谷テラスヤサイな仲間たちファーム（イメージ）

**Q** 農地について  
**A** 除外が制限されると聞いたが、転用など柔軟に対応すべきと思うが。  
**A** 本地域においては本年9月以降、早くても令和14年度までの約12年間、農振除外の制限を受ける。  
**Q** 市民生活に関係する重大な変更であると思うが、市の対応は。  
**A** 商業や工業にも良い地域だが、法律の趣旨に基づき業務を進めていきたい。



なが た かず ひこ 永田 勝彦 映像はこちら

**Q** 明戸駅前農地が適正利用されていないが市の対応は  
**A** 農地の借り手を探すなど適正な管理を指導しよう

**Q** 昭和60年頃、企業が買収した明戸駅前の農地が、適正利用されていない。長期にわたり放置したため、樹木・竹等が生い茂り、近隣住民の不安は増大している。当該企業は、農地の管理を放棄し、買収したまま一切捨て置く姿勢はいかがか。また、5千平方メートル程は、砂置き場として有料貸付している。本物件に生い茂った竹は竹林となり高さ20メートルに及び、立木は大木となり、イノシシ・アライグマ・マムシの生息地となった。明戸自治会から当該企業へ出向き申し入れたが、全く進展がない。法的措置を断行したい。  
**A** 明戸駅南側の農地については、その大半が同一企業が保有しており、その大部分が遊休農地化していた。農業委員会としては、耕作していたことが本来の適正管理と考えているが、当該企業からは、今後、関連会社等による農業経営や、農業法



明戸駅前の土地

人への貸出しも行っていないなどの意向があると聞いている。農業委員会では、農地の管理について指導通書を送付するほか、農地の借り手を探すなどの対応をしており、現在、当該農地の一部については、農業法人が貸借し、耕作している状況である。また、同企業も木の伐採や草刈りを行い、徐々に遊休農地が解消されている。農業委員会としては、引き続き、遊休農地解消に向けて指導を行うとともに、農業法人等への貸借等も斡旋し、農地の適正な管理に努めていくよう指導していく。